

嬉総第159号の9  
令和5年7月24日

嬉野市議会議長 辻 浩一 様

嬉野市長 村上 大祐  
( 公 印 省 略 )

文書質問について(回答)

嬉野市議会基本条例第7条第3号の規定に基づく文書質問につき、下記により回答いたします。

記

提出者 嬉野市議会議員(議席番号11番) 増田 朝子

(質問事項)

嬉野温泉駅開業後の駅周辺とまちの賑わいについて

(質問の要旨)

① 嬉野温泉駅開業から今日までの駅周辺やまちの賑わいについて市長の所感を伺う。

(回答)

**新幹線・まちづくり課**

昨年9月23日、西九州新幹線嬉野温泉駅が開業しました。市民にとっても念願の鉄道駅の開業ということで、開業イベント3日間では約6万人が来場され、市を挙げて祝福したところです。

開業後においても、駅及び駅周辺の利用者数は順調に推移しており、市内への賑わいへと繋がっているものと感じています。

新幹線は、開業して終わりではなく、今後いかに嬉野へ人を呼び込んでいくか、また、リピーターになっていただけるかが非常に重要であると考えています。

まずは、市民や旅行者に新幹線に乗っていただく、乗ってみて移動時の快適性や利便性を体感していただけるよう、引き続き利用促進に向けて取り組んでいきます。

② 手ぶら観光の実績を伺う。

(回答)

**新幹線・まちづくり課**

手ぶら観光における宿泊先への手荷物配送サービスにつきましては、今年4月からサービスを開始しているところです。

これまでの実績としては、4件（6月22日現在）の利用をいただいております。運送事業者の集配ルートの関係もあり、現在は午前9時から午前11時までにお預かりした荷物を、その日の午後4時までに宿泊先へお届けする運用となっています。

今後は利用者のニーズを踏まえ、運送事業者とも協議を行いながら、出来る限り利用者の視点に立ったサービス向上に取り組んでいきたいと考えています。

③ 観光客のリピーターが来ていただくためにはどのような仕掛けが必要と考えるか。

(回答)

#### 観光商工課

観光客は、初めて訪れる場所では、新しいものを体験したいという気持ちが強い方も見受けられることから、その方々がリピーターになってもらうためには、その場所に魅力を感じ、また訪れたいくなるような理由が必要だと思われまます。

そのため、観光コンテンツを充実させ、また、観光客がリピーターとなるためのきっかけをつくるのが重要だと考えているところです。

今後、さらに地域の魅力を活かした観光資源の磨き上げや、特産品や文化、自然環境などを活かした体験プログラムの充実、情報発信の強化、また、地域との交流を促進し、地域の文化や人々とのふれあい機会の創出など、引き続き関係機関と連携して地域全体の魅力を高めてまいります。

また、高付加価値化されたサービスの提供とともに、快適な環境や決め細やかなサービスの提供、バリアフリー化や多言語対応など、さまざまな角度から観光客の利便性や満足度を向上させる取り組みが必要であり、これらの要素を組み合わせることで、観光客に再訪していただけるものと考えています。

④ 駅周辺とまち全体（塩田地区も含め）が賑わうための今後の取組みを伺う。

(回答)

#### 新幹線・まちづくり課

駅周辺整備のコンセプトにもあるように、駅前に賑わいが生まれ市内全域への力強い人の流れを作り出すことで市内経済の活性化を図っていくことが重要であると考えますので、引き続き駅前でのイベント開催や情報発信に努めてまいりたいと考えています。

(質問事項)

地域コミュニティ事務局長の待遇について

(質問の要旨)

① 以前も質問をしたが、地域コミュニティ事務局長の社会保障制度の導入は、どのように検討されたか。

(回答)

#### 企画政策課

各地域コミュニティ事務局長の待遇については、以前、一般質問の中でもご指摘のあった社会保険（健康保険・厚生年金）加入について、各方面からの検討を行っているところです。

本市としては、事務局長職が市ではなく各地域コミュニティ協議会による雇用であることから、制度上、直接的な処遇改善ができず、地域コミュニティ交付金算定等の面で待遇改善できないか等の協議をしています。

現時点においては、年金事務所との協議、当事者である各事務局長への説明等（制度加入の諸条件や個々の状況把握・意向調査）を実施したところです。

今後、国の制度改正等の動きも見据えながら、市として地域コミュニティ活動を推進していく中で、全般的にどのような支援が適正なのかを協議検討し、処遇の改善に繋げていければと考えています。

(質問事項)

塩田庁舎等利活用について

(質問の要旨)

#### 1. 塩田庁舎等利活用検討委員会について

① これまでの会議の内容を伺う。

(回答)

#### 企画政策課

塩田庁舎等利活用検討委員会につきましては、これまでに4回の会議を開催しました。

第1回では、委員会設置の趣旨説明、スケジュール確認、庁舎等利活用の他事例紹介、第2回では「公共施設マネジメントの基本的な考え方など目指す方向」をテーマにした講演会の実施、第3回では塩田庁舎等利活用に係る条件（庁舎等の現状確認や各種計画等）の確認・整理、塩田庁舎等の利活用に関するアンケート（案）の内容確認・調整、第4回では塩田庁舎等の利活用に関するアンケート結果の集計報告、アンケートからの市民意識・ニーズの把握・共有などを行いました。

② 庁舎の利活用に関するアンケートの結果をどのようにとりまとめ、活用していくのか。

(回答)

#### 企画政策課

塩田庁舎等の利活用に関するアンケートについては、塩田地区各行政区に全戸配布のご協力を賜り、多くの市民の皆様の声を集めることができました。

アンケート結果については、年代別、男女別、地域別等での取りまとめ・集約を行い、6月末の検討委員会においても、アンケートからの市民意識・ニーズの把握・共有を行ったところです。

今後、新しい地域拠点として期待される塩田庁舎等利活用検討のための貴重な基礎資

料とし、塩田庁舎等利活用にかかる基本構想の策定に活かしていければと考えています。

③ 今後のスケジュールを伺う。

(回答)

#### 企画政策課

今後のスケジュールとして、塩田庁舎等利活用検討委員会での協議検討や塩田庁舎等の利活用に関するアンケートとは別に、市民の皆様から多様なご意見をいただく場として、市民参加型の塩田庁舎等利活用ワークショップを7～9月にかけて全3回の開催を予定しています。

塩田庁舎等利活用検討委員会としては、塩田庁舎等利活用ワークショップでのご意見や検討内容を踏まえた協議を10月頃に行う予定で、その後の協議検討の進捗状況にもよりますが、来年3月頃までの数回にわたり塩田庁舎等利活用にかかる基本構想（案）の検討を行っていく予定としています。